



ちづる

第12回

地域福祉を考える集い

妹が僕に 映画をつくらせた。

赤崎正和 監督作品

妹のことをどう説明したらいいかわからない。だから言葉で伝えるかわりにカメラを向けることにした。

立教大学現代心理学部映像身体学科の赤崎正和が監督したドキュメンタリー「ちづる」。自身の卒業制作として企画されたこの映画は、重度の知的障害と自閉症をもった赤崎の妹・千鶴とその母を1年に渡り撮り続けた、みずみずしくも優しい家族の物語である。最も身近な存在でありながら正面から向き合えなかった妹にカメラで対話した監督は、映画を撮り終える頃、家族との新しい関係を築きあげている自分に気づく。作者の精神的な成長がしみじみ映像に刻印されてしまった稀有なドキュメンタリーの誕生。“若さ”が成し遂げた映画の奇跡がここにある。

©2011「ちづる」上映委員会



自閉症とは・・・

先天的な脳機能の障害のために、発達期にさまざまな行動特性が明らかになる。人によって障害の現れ方は異なるが、他者とうまくコミュニケーションがとれない、視線を合わせにくい、周りの雰囲気を感じ取れない、同じ行動や動作を繰り返す、特定の物や場所に強いこだわりがある、といった特徴があげられる。最近ではアスペルガー症候群も含めて自閉症スペクトラム障害という場合が多く、100人に1人程度いると見られている。

期 日 2019年2月14日(木)

時 間 13:00~15:00(受付・開場12:30~)

場 所 ガレリアかめおか 1階 響ホール

参加費 無 料(事前申込みが必要です)

※ 申込書は 花ノ木 窓口、または後援会ホームページからもダウンロードできます。

申込先 花ノ木後援会 電話/FAX 0771-23-2348 <http://hananokikouenkai.web.fc2.com/>

主催：花ノ木後援会 亀岡市障害児者を守る協議会 共催：社会福祉法人花ノ木 NPO法人京花園 後援：亀岡市 京都府南丹広域振興局 亀岡市社会福祉協議会